

平成21年第5回 市議会定例会報

No.158 平成21年11月1日発行

編集・発行 加古川市議会事務局
加古川市加古川町北在家2000
TEL 079-427-9303

かこがわ 議会だより



ふ〜わ・ふわ
ふうせん遊び たのしいな!

加古川駅南子育てプラザで、10月の
おたのしみ会「ふうせんで遊ぼう」が
行われました。

40組以上の小学生未満の子どもと保
護者が、手遊びや風船を使って楽しみ
ました。

平成20年度各会計決算を認定

平成21年第5回市議会定例会は、9月1日
から9月18日まで、18日間の日程で開催され
ました。

平成21年度一般会計補正予算をはじめ、条

例の制定など市長提出議案15件の審議が行わ
れ、すべて原案のとおり可決されました。

また、平成20年度各会計決算17件は、すべ
て原案のとおり認定されました。

意見書

本定例会で、福祉厚生常任委員会から意見書案1件が提
出され、原案のとおり可決されました。この意見書は、直
ちに関係機関へ送付されました。

公費によるヒブワクチンの定期接種化を 求める意見書

細菌性髄膜炎にかかる乳幼児の数は、毎年1,000人
にもものぼると推定される。この病気は発熱や嘔吐な
ど風邪の症状と似ているため、早期の診断が難しく、
死亡率5%、後遺症が残る率は20~30%ともいわれ
ている。

しかし、この病気の原因とされるヒブ(インフル
エンザ菌b型)に対しては、ワクチン接種により効
果的に予防することが可能となっている。世界保健
機構も1998年に乳幼児へのヒブワクチン接種を奨励
しており、ワクチンを定期接種化した国々では、細
菌性髄膜炎の発症率が大幅に減少している。

日本では、ヒブワクチンは2008年12月によろやく
接種できるようになったが、任意接種のため、最大
4回の接種で約3万円が必要となり、子育て世代に
とっては大きな負担となっている。

細菌性髄膜炎から子どもたちを守るためにも、公
費によるヒブワクチンの定期接種化はきわめて重要
である。

よって、国におかれては、下記の事項を実現され
るよう強く要望する。

記

- 1 公費によりヒブワクチンを定期接種化すること。
- 2 乳幼児がいる世帯に対し、ヒブワクチンについ
て周知徹底すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提
出する。

平成21年9月18日

兵庫県加古川市議会
議長 名生 昭義

提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、
総務大臣、厚生労働大臣

次の定例会は12月1日から開催する予定です。

- 12月1日(火) 全議案上程(質疑・即決又は付託)
- 12月2日(水) 一般質問
- 12月3日(木) 一般質問
- 12月4日(金) 各常任委員会
- 12月11日(金) 委員長報告(質疑・討論・採決)
追加議案上程(即決)

本会議と委員会は、いずれも午前9時30分に開会する予定で
す。会議の日程等は変更されることがありますので、傍聴をさ
れるときは、あらかじめ議会事務局(☎427-9303)
へお問い合わせください。

市民の皆さまへ(お詫び)

9月議会最終日(18日)本会議において、議
長から次のとおり市民の皆さまにお詫びの言葉
がありました。

本市議会議員が公職選挙法違反で逮捕された
ことは、誠に遺憾であります。市民の負託を受
けた議員がこうした事件を起こし、市民の皆さ
ま方に多大なご迷惑をおかけしたことに對し、
心より深くお詫び申し上げます。

今後は、一日も早く市民の皆さまの信頼回復
に向け、議会一丸となって取り組む決意です。

加古川市議会 議長 名生 昭義

請願 本会議及び委員会で、次の請願に結論が
出されました。

採択となったもの

細菌性髄膜炎ワクチンの公費による定期接種
化を国に要請する意見書を求める請願書
(加古川町平野・新日本婦人の会加古川支部支
部長・畝本 敬子) 全会一致

市議会 会議録検索システム

インターネットにより、平成13年3月から平
成21年6月の本会議(定例会・臨時会)及び議
員協議会の会議録が閲覧・検索できます。

会議録検索システムのURL

<http://www.kensakusystem.jp/kakogawa/index.html>



BAN BANテレビ

(アナログ52ch
デジタル018ch)

一般質問の模様を、議場から
生中継します。

放送日時

12月2日(水)・3日(木)

いずれも午前9時30分から

般

問

一 質

9月2日と3日に行われた一般質問には、11人の議員が質問に立ち、市政全般にわたり活発な質問を展開しました。主な内容は次のとおりです。

加古川駅南西地区に 防災道路を

西田 重幸 議員

議員 JR加古川駅南西地区整備の一環として、防災道路の早期着工を求める要望書が提出されている。本市は平成二十年度に、同地区の土地・建物の現状調査を実施し、要望のあった地区住民に対しては、コンサルタントを派遣し、事業実現のための技術支援を行っている」と聞いている。今後の予定はどうか。

今後、地元まちづくり組織の合意形成が図られ、事業の実現性が高まれば、国の補助制度の適用について関係機関と調整を行い、地元組織と共に取り組んでいきたい。

その他の質問項目
震災時の備えについて
全町内会に備えている用具の管理/全町内会の配付に要した金額
生活困窮の父子家庭について
児童扶養手当の支給
加古川駅南西地区に必要な防災道路について
今日までの進捗状況
公共工事の入札制度について
入札額の平均値に九十%を掛ける根拠/平均落札率が全国千七百五十五市区町村

卸売市場の活性化 への取り組みは

井上 隆司 議員

で下から四番目に低いこと/市単独事業と補助公共工事による前年二年間の金額

議員 公設地方卸売市場の活性化が課題となっており、方向性がまだ見えてこない。検討の状況はどうか。また、施設の老朽化に対する修繕の計画はどうか。

地域振興部長 公設地方卸売市場の活性化については、平成十六年度に検討を行い、翌年度から市場開放を目的に「市場まつり」を開催している。平成十九年度には将来の方向性について、コンサルタントに調査を委託し、市場の民営化や指定管理者への委託など多数の案を得た。これらを参考に市場のあり方等について、市場開設運営協議会や場内業者と協議し、具体策を実施していきたい。なお、セリ場の大屋根は老朽化が著しいため、「歳末市場まつり」後に改修工事を予定している。

その他の質問項目
東加古川公民館(平岡南公民館)建て替えについて

老朽化に対する現状認識/立地場所、現在の設備等の機能の認識/地域の実情に合った新たな機能の併設/本年度、来年度の取り組み計画

加古川市公設地方卸売市場の活性化について
果/大規模修繕の予定
Hibb(ヒブクチン)についての知識の周知について
広瀬 弘子 議員

議員 日本では、年間一千人の子どもが細菌性髄膜炎にかかっていると推定され、その原因の六割以上が、「ヒブ菌」である。この病気は「ヒブワクチン」で予防できるが、「ヒブ髄膜炎とワクチン」についてはあまり知られていない。「母親学級」や「両親学級」、市内の産婦人科医に協力を要請し、市民への周知方法を検討してはどうか。

福祉部長 ヒブワクチンは、昨年十二月から任意の予防接種として接種できるようになった。ヒブワクチンの接種対象年齢や接種方法など、その概要について、市のホームページに掲載するとともに、現

在配付している予防接種手帳に記載し、市民への周知・啓発を図る予定である。

その他の質問項目
Hibワクチンについて
Hibワクチンの定期接種化/Hibワクチン接種への助成
不用になった入れ歯の回収について
貴重資源の回収についての認識/世界の恵まれない子どもたちの支援活動

市民病院内科医の 退職問題について

渡辺 昭良 議員

議員 市民病院の内科医は平成十四年度では十四名であったが、現在一名にまでに減少している。市民から不安の声が多数あがっており、内科医の確保は急務と考える。医師の待遇や職場環境の改善等、医師確保に向けての具体的な取り組みはどうか。

市民病院管理部長 内科医不足については、神戸大学の医局に医師の派遣を強く要望しているが、報告できる状況には至っていない。今後も、市長をはじめ、総力をあげて医師確保に最大限の努力を続け

ていく。なお、医師の待遇や職場環境については、諸手当の改定や院内保育園の設置、医療クラークの配置など、改善を進めている。

その他の質問項目
加古川市民病院の現状と改革プランについて

内科医不足に伴う入院患者への対応/内科医の不足と経営問題/PET CT及びびりニアックの導入と稼働/DPC(診断群分類)評価(への移行/市民病院が果たす地域医療の役割/市民病院の経営形態/改革プランの評価、点検

に「市民病院改革プラン」を策定し、平成二十三年度までの目標を数値化して取り組んでいる。具体的には、入院患者の看護をより手厚くする七対一看護体制の継続や、小児医療における高度医療の導入など、様々な分野で収益向上への取り組みを進め、目標値

の達成に努力している。また診療報酬については、本年七月から、病名に応じた診療報酬が算定される包括評価制度を導入しており、今後も診療の質を低下させず、より効率的な診療を行っていく。

その他の質問項目
市民病院の経営状況と改革プ

狭隘踏切の拡幅と 改良工事について

松崎 雅彦 議員

議員 朝夕のラッシュ時の狭隘踏切は、人・自転車・車が交錯し、大変危険である。狭隘踏切(大割上、宮東第三、神野第二)の拡幅、改良工事について、協議の進捗状況と工事開始及び完了の予定はいつか。また、工事期間中の安全確保対策はどうか。

建設部長 大割上踏切は、JR西日本との間で、九月下旬頃に工事施行協定を締結し、完成は平成二十一年度内の予定である。宮東第三、神野第二踏切は、計画協議中であり、本年十二月頃の工事施行協定締結を目指している。事業主体であるJRから情報提供があり次第、地域住民には周知を図り、工事期間中の安全対策もJRと十分協議し、地域の理解を得ながら進めたい。

その他の質問項目
災害時の高齢者や障害者等を守る対策について

現在までの新型インフルエンザの感染状況と今後の見通し/新型インフルエンザ等感染症対策の強化
地域医療の充実で、安心してかかることができる医療体制について

市民病院の 経営見通しは

坂田 重隆 議員

議員 平成二十年度の市民病院決算は、中央診療棟の開設に伴う経費増などで赤字となっている。今後も内科の診療制限の影響もあり、収益の悪化が懸念されるが、経営の見通しはどうか。



加古川市民病院

市民病院の現状と総合病院としての機能維持/県立病院(医療センター)および医師会との医療連携の充実/中央診療棟の運営と今後の見通し/今後の医師や看護師の確保に向けた対策の強化/夜間急病センターの診療体制の充実
狭隘踏切の拡幅と改良工事での住民の安全確保について
上土堤一、宮東第一踏切の拡幅、改良の早期実現

パンデミック時の 行政業務継続計画は

井筒 高雄 議員

議員 新型インフルエンザが爆発的に流行（パンデミック）し、行政の業務運営に支障が出た場合の指針となる、業務継続計画（BCP）策定への取り組みはどうか。また、来庁者への感染防止策はどうか。総務部長 パンデミック状況下の行政機能維持については、新型インフルエンザが発生した本年五月に、業務内容の継続・縮小・延期・中止等を調査した。BCPの策定には至っていないが、職員への感染が拡大した場合は、調査結果を基に必要な業務を精査し、応援体制や事業の縮小・中止等の対応をとっていききたい。また、来庁者への対応は、現在、消毒液とマスクを全施設に配布しており、必要時には提供できる体制をとっている。その他の質問項目

行政BCP、行政業務継続計画と管理について

地域のグリーンニューディールについて

相乗効果と地域内乗数効果

り組んでいる。しかし、野口町南部地域のかこバス路線は、野口町良野から平岡町を通る東加古川ルートのみであり、明姫幹線沿線の坂井地区、長砂南部地区は、民間のバス停留所まで遠く、不便である。明姫幹線沿線を運行するルートを検討してはどうか。

都市計画部長 現在、かこバス路線として、明姫幹線を挟み二つのルートがあるため、

WEB図書館の 導入は

相良 大悟 議員

議員 書籍に親しみ、活字を読むことは、思考力等を養い、子どもの学力向上の視点からも重要である。「電子図書」を貸出・返却できる、インターネットを活用した「WEB図書館」は、時間のないサラリーマンや、外出が困難な高齢者にも利便性が高い。また、書籍の盗難や破損に係るコスト面でも有効である。本市でも、導入を検討してはどうか。教育指導部長 IT技術の図書館導入は文部科学省も推奨しており、WEB図書館は利便性の高さや、紛失・損傷が無いなど利点も多い。一方、著作権法により提供可能な書籍が少ないことや、導入や維持経費等の問題がある。現在、国立国会図書館でも研究されており、本市でも先進地の事例を調査していききたい。その他の質問項目

「SIDS対策の更なる取り組み」について

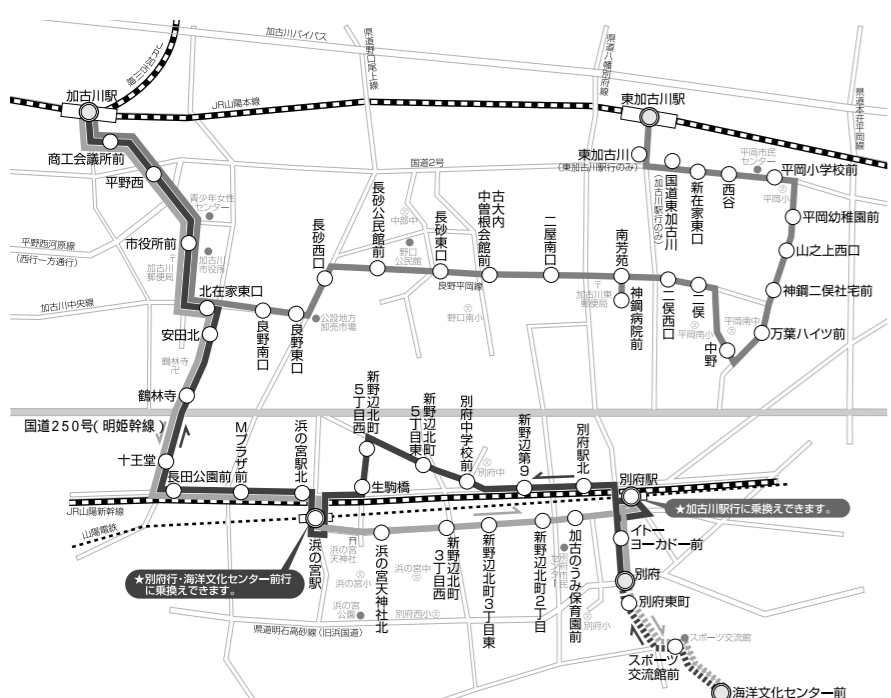
本市の過去五年間のSIDS発生状況/関係者等への周知状況/保育施設における

新たに設けることは難しい。しかし、民間バス事業者と協議し、既存バス路線の見直し、変更を行うことで対応できると考えている。今後も移動手段の確保について、地元自治会、バス事業者等と協議し、検討していききたい。その他の質問項目

危機管理について

新型インフルエンザ対策/

水防対策



かこバス路線図（東加古川ルート・別府ルート）

現在の予防の取り組み/発症時の対応/認可外保育施設等の補償

「新型インフルエンザの本格流行への対策」について
加古川市における関係機関との連携体制/重症化しやすい「高リスク者」対策/介護・福祉施設での集団感染を防ぐ対策/学校園での予防対策及び流行時の取り組み/基本的予防のための啓発活動

「安心ことも基金の活用」について
三人乗り自転車の普及促進
「図書に親しむまちづくり」について
地域別、世代別の図書館利用者数

川崎重工総合グラウンドの 土壌汚染に関する対応は

中村 照子 議員

議員 川崎重工総合グラウンドで、土壌汚染対策法の基準を超える有害物質が検出された。本年八月の説明会では、住民から「鶴池タウンにある公園の土壌を調査してほしい」「検査データで安全を確認したい」等の要望があった。そ

の後の対応はどうか。

環境部長 グラウンドの土壌汚染は、透水性を図るため敷かれた粉砕コンクリート等が原因と考えられる。工場跡地であった住宅地等の土壌は、コンクリート等を撤去、または地面から一・五メートルまでの地下埋設物を撤去した後、最大二メートルの盛土を実施している。人への健康の影響は無いと考えているが、地元町内会から要望があれば、区内公園の追加土壌調査等を検討していききたい。その他の質問項目

新型インフルエンザ対策について
健康福祉対策/学校園における対策/危機管理体制/医療費の負担軽減
川崎重工総合グラウンドの土壌汚染について
小学生、園児、施設利用者、鶴池タウン住民の健康被害

播磨臨海地域道路 建設の見直しを

山川 博 議員

議員 平成十九年三月、播磨臨海地域の高速道路建設の促進を目的として、四市二町で協議会が発足された。協議会

は、加古川バイパス等の渋滞解消、生活環境の悪化防止を目的に掲げているが、事業費は六千億円以上も必要である。この財源を、社会保障や教育、福祉の充実に活用するべきと考えらるがどうか。

都市計画部長 常態化している国道二号バイパスの渋滞は、輸送効率の低下を招き、産業環境を悪化させている。また、渋滞回避の車両が生活圏へ侵入する等、生活環境面でも影響を及ぼしている。播磨臨海地域道路の建設は、適正な交通分担を図り、生産環境や生活環境を改善し、雇用や市民の安全安心の確保をもたらすものと考えている。その他の質問項目

加古川市基本構想（案）について
まちづくり構想/インフラ整備
就学援助制度の充実について
所得基準引上げで対象を拡大/対象把握と周知徹底

明姫幹線に バス路線を

新屋 英樹 議員

議員 本市は高齢者や障害者等のため、かこバス事業に取

議決

一般会計

防災及び災害関係事業五百十九万円について、内容を質問したのに対し、理事者から「新型インフルエンザ感染拡大防止のため、サージカルマスク、防護服、消毒液を購入し、備蓄しようとするものである」との答弁がありました。

道路新設改良事業一億三千二百七十七千円について、内容を質問したのに対し、理事者から「緊急対策踏切改良事業として、JR山陽本線の大割上踏切、宮東第三踏切、加古川線の神野第二踏切の三方所を整備するものである」との答弁がありました。

住宅手当緊急特別措置事業三千五百五十四万八千円について、委員から「敷金や礼金等は支給の対象にならないのか」と質問したのに対し、理

本定例会に、市長から平成二十一年度各会計補正予算、条例の制定、決算など計三十二件が提出されました。
主な議案の内容は、次のとおりです。

許可申請手数料条例の制定
事者から「住宅の賃料が対象であり、入居に伴う初期費用の支払いが困難な場合は、社会福祉協議会が実施する総合支援資金融資制度を案内することとしている」との答弁がありました。
小学校耐震化推進事業五億三千五百二十万六千円及び中学校耐震化推進事業二億三千九百三十九万八千円に關連して
市内学校園における耐震化の進捗状況を質問したのに対し、理事者から「平成二十一年四月一日現在の耐震化率は六十七・一％であり、平成二十一年度末には六十九・六％、平成二十二年度末には七十四％を見込んでいる」との答弁がありました。

加古川市国民健康保険条例の一部改正
本案は、国民健康保険条例の一部改正で、健康保険法施行令等の一部を改正する政令が公布されたことに伴い、所要の措置を講じようとするものです。
その内容は、平成二十一年十月一日から平成二十三年三月三十一日までの間の出産に係る出産育児一時金を四万円増額するものです。

条例

加古川市汚染土壌処理業の

決算認定

平成二十年度一般会計歳入歳出決算など十七件の決算が、所管の各常任委員会において、九月八日と九日の日程で審査されました。

審査の結果は、本定例会最終日に各常任委員長から報告され、採決の結果、すべて原案のとおり認定されました。委員長報告の主な内容は、次のとおりです。

一般会計

家庭教育支援相談事業の相談件数は

家庭教育支援相談事業の臨床心理士報酬六百十五万五千八百四十円について、相談件数を質問したのに対し、理事者から「平成二十年度は二千四百二十五件の相談があり、前年度の千八百八十件と比べ増加している。なお、急を要する場合や相談内容によっては、スクールカウンセラーや県の学校支援チームの相談員等へも連絡を取りながら対応している」との答弁がありました。

市民相談・法律相談の件数は

相談事業の委託料九百四十六万二千四百四十五円に関連して、市民相談及び法律相談の件数を質問したのに対し、理事者から「平成二十年度における市民相談は千五百八十九件、法律相談は八百八十三件であった。なお、急ぎの法律相談については、三十分五十二百五十円の総合法律センター加古川相談所を案内している」との答弁がありました。

資源ごみ収集の実績は

資源ごみ収集事業の委託料一億千五百九十万六千二百八十四円について、収集の実績

を質問したのに対し、理事者から「資源ごみステーションにおける回収の総量は、前年度五千四百四十五トンが平成二十年度は三千九百三十二トンとなり二七・八%減少している。また、集団回収においても、紙の回収量が前年度一万千六百トンから平成二十年度は九千五百八十一トンと十三・七%の減少となっている」との答弁がありました。

AEDの設置状況と使用実績は

防災及び災害関係事業のAED貸借料金二百五十九万三千八十円について、設置状況と使用実績について質問したのに対し、理事者から「市内の施設等に百四十七台、貸

出用として三台、合計百五十五台を設置している。なお、AEDの緊急使用の報告は受けていない」との答弁がありました。

消防団の備品購入の内容は

消防団活動事業の備品購入費四百六十六万三千三百八十九円について、内容を質問した

のに対し、理事者から「大災害発生時における消防団の初期救助活動の充実を図るため、ジャッキ、担架、投光機等十四種類の防災資機材を整備したものである」との答弁がありました。

浸水対策排水路整備事業委託料の内容は

浸水対策排水路整備事業の

委託料二百二十五万七千五百円について、内容を質問したのに対し、理事者から「平成十六年の台風による浸水被害を契機に、平成十七年度から順次排水路の改修に取り組んでおり、その測量及び設計を行ったものである」との答弁がありました。

火災警報器の

市営住宅への取り付けは

市営東神吉住宅火災警報器取付工事請負費二百八十八万七千五百円について、進捗状況を質問したのに対し、理事者から「平成二十年度は東神吉住宅の全百八十九戸に取り付けを行った。平成二十一年度中にはすべての市営住宅への取り付けが完了する予定である」との答弁がありました。

防犯・交通パトロール

業務の効果は

防犯・交通パトロール業務委託料五百八十八万九千九百二十円について、効果を質問したのに対し、理事者から「本事業は平成十六年七月より開始しており、加古川警察署の資料によると、平成十五年には八百八十九件あった侵入盗

が平成二十年には四百六件にまで減少している」との答弁がありました。

農林漁業祭の成果は

農林漁業祭事業の負担金補助及び交付金百二十万円について、成果を質問したのに対し、理事者から「平成二十一年度は十一月から一月までの間に十六の行事を延べ六十七日開催した。集客数も前年度の二万六千人から六万三千人に増え、農業者相互の研鑽を積むとともに、消費者との交流を深めるなど、評価できるものとなったと考えている」との答弁がありました。

神野駅の

周辺整備予定は

神野駅等周辺整備事業二百二十七万九千五百五十円に関連して、今後の予定を質問したのに対し、理事者から「北駅舎の開設とともに、ミニ二テイ施設、市民トイレを設置することとしている」との答弁がありました。

中心市街地空き店舗

有効活用促進事業の現状は

中心市街地空き店舗有効活



中西条浄水場の新管理棟

水道事業会計

中西条浄水場更新事業の進捗よく状況と今後の見通しを質問したのに対し、理事者から「平成二十年度は新管理棟、新電気棟の建設などを行い、当初計画に対する工事の進捗よく率は約二三%となった。平成二十一年度には、非常用の発電装置及び過池の電気設備の更新を行う予定である」との答弁がありました。

病院事業会計

未収金十二億八千四十五万七千六百六円について、徴収状況を質問したのに対し、理事者から「全額を納付できない者に対しては、分納誓約書に基づく納付を指導し、滞った場合は、文書あるいは電話による督促を行い、医事課及び総務課合同による外勤徴収も実施している。なお、二十万円以上の滞納者について簡易裁判所への申立てを行った結果、九十二万九千九百九円の納付があった」との答弁がありました。



チェーンソーを使った救助活動訓練